



『東信ブロック合同訓練 救急訓練』





『救急技術向上研修会』

# 救急編

#### 救急活動

# 救急出動の概要

(令和6年中)

		総			事		ţ	汝		種		別	
		,,,,,	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ
区	分			然		通	働	動	般		損		Ø
		数		災		事	災	競	負		行		V
		<i>3</i> A	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他
出動	)件数総数	13, 272	59	0	14	647	130	42	2, 088	33	116	8, 554	1, 589
搬送	人員総数	12, 478	14	0	5	652	129	42	2, 001	27	76	7, 977	1, 555
出	令和6年	13, 272	59	0	14	647	130	42	2, 088	33	116	8, 554	1, 589
動件	令和5年	12, 788	67	0	6	597	113	57	2, 066	26	73	8, 305	1, 478
数	増減	484	△ 8	0	8	50	17	△ 15	22	7	43	249	111
搬	令和6年	12, 478	14	0	5	652	129	42	2, 001	27	76	7, 977	1, 555
送人	令和5年	12, 028	15	0	2	605	111	57	1, 952	18	47	7, 767	1, 454
員	増減	450	Δ1	0	3	47	18	△ 15	49	9	29	210	101

# 署別教急出動件数

(令和6年中)

区分	総			事		ţ	汝		種		別	5     /
署別	数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	そ の 他
総数	13, 272	59	0	14	647	130	42	2, 088	33	116	8, 554	1, 589
小諸消防署	2, 531	19	0	2	115	19	5	340	5	37	1, 764	225
佐 久 消 防 署	3, 440	6	0	4	148	25	16	470	10	34	2, 447	280
軽井沢消防署	2, 188	2	0	0	130	37	3	478	7	6	1, 349	176
北部消防署	1, 668	9	0	5	59	13	2	189	7	8	887	489
川西消防署	1, 431	10	0	1	62	12	3	277	1	10	977	78
南部消防署	1, 005	3	0	1	48	11	10	156	1	10	500	265
御代田消防署	1,009	10	0	1	85	13	3	178	2	11	630	76

#### 市町村別救急出動件数

(令和6年中)

	区分総				事	•	-	故	₹	重		別	
			火	自然災	水	交通事	労働災	運 動 競	一般負	加	自損行	急	その
市	町村別	数	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他
	総数	13, 272	59		14	647	130	42	2, 088	33	116	8, 554	1, 589
/]	入 諸 市	2, 506	16		2	113	16	4	318	5	38	1,772	222
셛	上 久 市	5, 563	19		11	225	42	21	763	18	47	3,634	783
	佐 久 穂 町	535	2			20	7		65	1	6	370	64
南	小 海 町	497			1	15	1	4	62	1	2	190	221
佐	川上村	203	2			12	5	1	39		1	105	38
久	南牧村	226	2			19	4	4	45		4	142	6
郡	南相木村	47				1		1	8		1	36	
	北相木村	29					1		7			19	2
北	軽井沢町	2, 256	11			137	40	4	497	6	5	1, 378	178
佐久	御代田町	829	1			61	9	2	150	2	10	525	69
郡	立 科 町	536	4			31	4		121		2	368	6
上信	言越自動車道	21	2			8						11	
中音	『横断自動車道	4				4							
徻	幹 轄 外	20				1	1	1	13			4	

※ 管轄外出場件数は、上記以外の市町村。

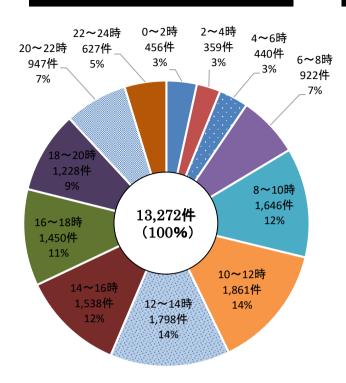
# 月 別 救 急 出 動 件 数

(令和6年中)

X	分	総	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自損	急	そ
				災		事	災	競	負		行		0)
月別		数	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他
総	数	13, 272	59		14	647	130	42	2, 088	33	116	8, 554	1, 589
1	月	1, 112	4			45	12	2	205	1	8	697	138
2	月	1,081	5		1	38	10		179	1	8	705	134
3	月	1,052	8		1	42	15	3	128	4	19	686	146
4	月	971	5		3	46	5	3	131	3	11	643	121
5	月	1,070	4			76	7	3	144	6	9	682	139
6	月	1,013	2			47	10	9	150	2	6	665	122
7	月	1, 220	2			57	13	3	176	2	12	805	150
8	月	1, 321	4			82	15	5	219	4	11	863	118
9	月	1,096	4		6	59	10	4	195	6	7	682	123
10	月	1,042	3		1	46	10	6	175		7	670	124
11	月	1,032	6		1	51	11	1	180	2	9	645	126
12	月	1, 262	12		1	58	12	3	206	2	9	811	148

## 時間別救急出動状況

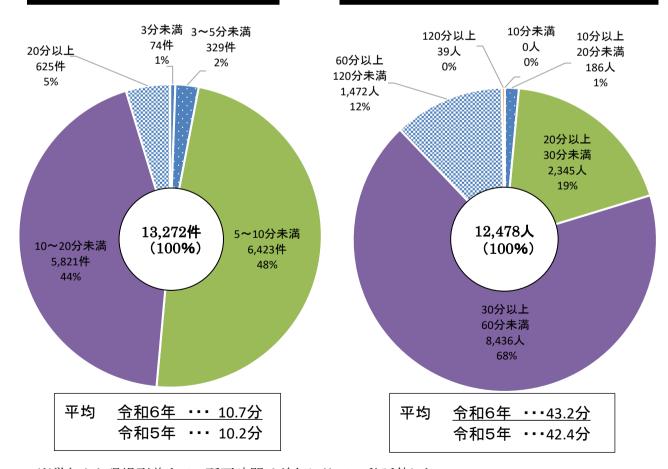
#### 曜日別救急出動状況





#### 現場到着所要時間別状況

### 医療機関までの所要時間別状況



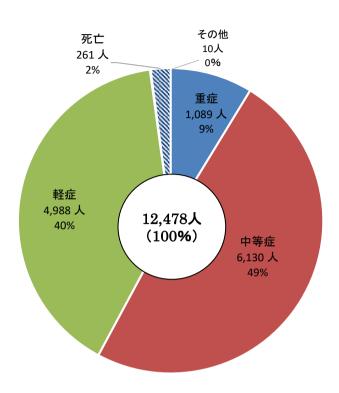
- ※覚知から現場到着までの所要時間は前年に比べ30秒延伸した。
- ※ 覚知から医療機関収容までの所要時間は前年に比べ48秒延伸した。

#### 傷病程度別搬送人員状況

救急搬送人員12,478人のうち、死亡、 重症、中等症の傷病者は7,480人で、そ の割合は全体の59.9%となり、入院加療を 必要としない軽症の傷病者は、4,988人 (39.9%)となっている。

救急隊員が行った傷病者への応急処置件数は、42,476件である。その内容は、血中酸素飽和度の測定が12,167件(29%)と最も多く、次いで血圧測定12,126件(28%)、心電図7,313件(17%)、聴診器による心音・呼吸音の聴取3,647件(9%)、酸素吸入2,934件(7%)の順となっている。

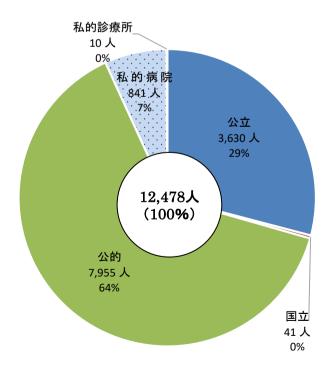
なお、搬送人員の98.2%が佐久圏域内 の医療機関に収容されている。



#### 救急隊員の応急処置実施状況

#### その他の 被覆 気道確保 固定 応急処置 665件 517件 414件 保温 2,130件 1% 2% 554件 5% 1% 酸素吸入 2,934件 血中酸素 7% 飽和度の 測定 聴診器による心 12,167件 音・呼吸音の聴取 29% 3,647件 42,467件 . 9% (100%)心電図 7,313件 17% 血圧測定 12.126件 28%

#### 医療機関別搬送人員状況



#### ドクターヘリ・ドクターカー出動状況

(令和6年中)

		総			事		故		種		別		
			火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ
区	分			然		通	働	動	般		損		Ø
				災		事	災	競	負		行		V
		数	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他
ドクタ	出動件数	65				6	3	1	8		1	44	2
	搬送人員	56				6	3	1	8		1	35	2
ドクタ	出動件数	19	1			2			2			13	1
カー	搬送人員	14	1			1			2			10	0

<sup>※</sup>その他には転院搬送も含まれております。

#### 応急手当普及啓発活動の状況

応急手当の普及啓発活動推進に関する実施要綱の制定及び救急業務実施基準の一部改正 (平成5年3月30日付け自治省消防庁通知)に基づき、応急手当指導員資格取得講習は隔年、 応急手当普及員資格取得講習は順次実施していく。

地域住民等を対象にした上級救命講習会及び普通救命講習会を実施し、修了証を交付した。

(令和6年中)

区 分(講習時間)		回 数	認定証交付数	修了証交付数
応急手当指導員資格取得講習(	8時間)	0 回	0 名	_
応急手当普及員資格取得講習(2	24時間)	1 回	7 名	_
上級救命講習 (8	時間)	4 回	_	74 名
普通救命講習 I (3	時間)	113 回	_	1,553 名
普通救命講習Ⅱ (4	時間)	0 回	_	0 名
普通救命講習Ⅲ (3	時間)	8 回	_	52 名
救命入門コース (1.	5時間)	2 回		18 名
累	計	128 回	7 名	1,697 名

※普通救命Ⅲとは、平成24年に新設した講習で、主に小児、乳児等を対象とした応急手当を学ぶもの

<sup>※</sup>ドクターヘリの搬送人員は、ドクターヘリにて医療機関へ搬送したものを計上。